

2・3月議会から

●鎌倉の消防も被災地へ

この度の能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に、深く敬意を表します。

鎌倉市消防本部は消防隊員38人を派遣、捜査救助活動にあたりました。また市が昨年12月に導入し、今年2月から市内で利用を想定していたトイレトレーラーを、1月9日より石川県珠洲市に派遣しました。

●令和6年度予算は「ミライへはばたく予算」

一般会計は約744.5億円、令和5年度予算と比較して約77億円、11.5%の増。特別会計と合わせると約1,273.6億円。過去の予算と比較しても最大規模の予算となります。

主な理由は児童手当や障がい者福祉に係わる扶助費の増額、給食室冷暖房設備設置工事や高機能消防センター設備更新など、投資的経費の増額が挙げられます。

●令和5年度2・3月定例会

2月6日から3月15日までの39日間の定例会、毎年予算の検討とともに、会派代表質問が行われます。私が所属する「夢みらい鎌倉」では、令和6年度の重点事業を中心に45項目の質問をいたしました。

予算案の大きなテーマは「こどもまんなか社会の実現」であり、鎌倉で生み育てる安心、鎌倉で育つ喜びを持つことができる環境を作ること。そのテーマ実現のための施策を、実施計画に沿って質問いたしました。(詳細は中間)



ブログ「いやさか通信」から

腰中親父の会ペンキ塗り



コロナ禍でできなかった4年間を加えると26年間続けている。私は第2回目から参加。朝9時から午後5時まで、懐かしい方たちと1日たっぷりの作業(3/2)。

インクルーシブ公園開設



障がいのある子どもも一緒に遊べる遊具があるインクルーシブ公園。鎌倉で初めて鎌倉海浜公園由比ガ浜地区にオープン。子どもたちは大喜び(2/27)。

カマクラシックオーケストラ



第1回特別演奏会を開催。小学生から68歳まで、プロも所属するオーケ。入団条件は「鎌倉が好き」。松尾市長の指揮で鎌倉市歌も演奏(2/27)。

市議会ピンクシャツデー



2月はピンクシャツデー月間。ピンクのものを身につけていじめ反対を意思表示。鎌倉市議会も毎年この日を設けている(2/14)。

源頼朝公の月命日



朝、お墓のお掃除に集合。近所に祖母の家があった懐かしい場所。境内で遊んだことやお茶店(おちゃみせ)があったことを思い出す(2/13)。

雪の朝、市議会定例会へ



夜半には止んだ前夜の雪。道路への影響がわからないので、iPadなどを詰め込んだリュックを背負って徒歩で議会へ。今日から2月定例会(2/6)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。
<http://www.maekawa-ayako.net>

共育のまち、鎌倉をつくろう



卒業を迎える第二中学校3年生に同窓会長としてご挨拶。今年の卒業生は76回生、私は27回生。おなじ街に育ち、その街に日頃から想いを寄せ、遠く離れても将来懐かしく思い出される日が来ることを願っています。校舎は違うけれども、この坂を登ると、数十年の歳月がふっと消えるのが母校です(2024.02.29)。



前川あやこ

無所属 鎌倉市議会議員5期

2005年から5期連続当選

会派「夢みらい鎌倉」所属

教育福祉常任委員会委員

レポート

NO.82

2024,03発行

2024年2・3月議会からのご報告

1 今年度はミライへはばたく予算

2 「夢みらい鎌倉」会派代表質問

- ・ゴミ0を目指すゴミ処理関連
- ・健康福祉、子育て、学校関連
- ・防災、交通、産業、消費関連



WEBサイト

討議資料

前川あやこの活動は
ブログ「いやさか通信」
Facebook、Instagramを
ご覧ください。



いやさか通信



Facebook



Instagram

【発行】前川あやこ 【住所】〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-10-8
【TEL / FAX】0467-23-0964 【E-mail】info@maekawa-ayako.net
【前川あやこ履歴】1960年鎌倉市二階堂生まれ、聖心の園幼稚園
第二小・中学校、聖園女学院、日本大学。

ゴミ0を目指すゴミ処理関連

●戸別収集は一部地域で来年4月から

これまでも市内の3地区で戸別収集のモデル事業が行われてきましたが、いよいよ本格実施が決まりました。まず「燃やすゴミ」を優先的に、来年4月から1万世帯で先行実施し、再来年には全市内での展開が計画されています。

●指定収集袋のバラ売りを計画

鎌倉市では10枚1セットで販売されていますが、他市ではレジ袋の代わりに小分けして売っています。レジ袋の削減のため、当市でもすでにバーコードを付けてバラ売りに対応できるように準備されており、スーパー等の店舗の負担感を解消しつつ実現していく予定です。

●削減を目指して家庭内処理の拡大

令和7年1月に名越クリーンセンターが停止されます。紙おむつや生ゴミの資源化を進めるとともに、家庭内処理の拡大が必要です。生ゴミ処理機の補助金額拡大が決められています。

●8市連携海洋プラスチックごみ削減

鎌倉、逗子、藤沢、横浜市など8市が連携した啓発活動は意義深い取り組みだと感じています。今年も「ゴミ0の日(5/30)」にちなんで活動を続けていく予定です。

青少年の居場所づくりへ

鎌倉青少年会館(二階堂のフレンドリー鎌倉)を活用すべく、昨年「リニューアル実行委員会」を立ち上げ、市立、私立の中2・3年の生徒が集まりどのような場所にするべきか、こうなったらいいな、など話し合った。その結果、16時~21時の開館を中心にグラウンドの使用も視野に入れ、今年11月頃のオープンを目指す。私が一般質問で「青少年の居場所づくり」を要望してから16年、やっと実現!



「夢みらい鎌倉」 会派代表質問から

健康福祉、子育て、学校関連

●鎌倉市独自の所得制限撤廃

障がい児を持つ家庭のサービス利用は、これまで所得によって自己負担が生じていましたが、鎌倉市はこれを撤廃。令和6年度予算の柱の一つである、障がいの有る無しに係わらず、安心して育てることができる鎌倉を目指しています。

●かまくらっ子発達支援サポーター

現在、市立全小・中学校のみならず、5つの幼稚園・保育園にサポーターが配置されていることは、大きく評価されます。課題は時間のかかるサポーターの養成で、定員を超えて受講希望者が有るにも係わらず対応しきれていないことです。

●こども家庭センターを設置

妊娠期から子育て期にかけて切れ目のない支援が重要で、特に産後ケアなど、より手厚くすることが求められています。母子保健と児童福祉の機能を持つ「家庭センター」が設置され、虐待防止などにも力を発揮することが期待されています。

●校内フリースペースの整備

今年度は小学校5校、中学校4校に整備、令和8年度中に市立全小・中学校25校に設置を決定。各校内に学級以外の居場所を設けるとともに、学びの場サポーターを配置することになりました。

55回を迎えた母と子どものトスペースボール

多くの方に親しまれているトスペースボールを、年齢性別を問わず、誰でも気楽に、安全に楽しめるように工夫したスポーツ。トマシーンからトスされたボールを思いっきり打ちます。1994年神奈川県に誕生。母と子の、と銘打った大会は鎌倉市が発祥の地。



防災、交通、産業、消費関連

●医療機関連携システムの導入

令和7年4月から更新・整備される高機能消防指令センターの大規模な整備。同時に導入される医療機関連携システムは、救急車と医療機関が情報を共有でき、スムーズな救命救急につながることを期待されています。

●がけ地対策は事前の予防に重点

谷戸の多い鎌倉市では、伸びすぎた樹木によるがけ崩れなどの災害多発が心配されます。民有緑地の対策としては、補助金の予算を十分に確保し、緑地専門委員を派遣するなど事前の予防対策の充実を図っています。

●交通不便地域の解消に向けて

二階堂地区では、社会福祉法人きしろ社会事業会が昨年10月からテスト走行を継続中。火・金の週2回、各午後後に3便を走らせています。この利用状況を検証しながら、市内他地域への展開も含めて、今後の進め方を検討していきます。

●鎌倉地域の漁業支援施設整備

漁業関係者の長年の悲願であった施設整備。令和5年度は土壌調査、今年度は基本設計を行い、周辺住民への広報と説明が予定されています。令和7年度に着工し、13年度中の完成を目指しています。

●フェアトレード・タウンの認定に向けて

発展途上国の製品を適正に購入するまちとなるべく、令和5年1月にはワークショップを開催。フェアトレード・タウン認定を進める市民団体への補助制度を制定しました。

湘南漁業協同組合設立

相模湾沿岸の藤沢、鎌倉、葉山、大楠の4漁協が合併した「湘南漁業協同組合」が1月4日に発足。鎌倉漁協は湘南漁協鎌倉支所となった。鎌倉の漁師さん60年の悲願と言われた鎌倉漁業支援施設の建設が進む中、記念すべき新年となった(写真は1/2に行われた材木座海岸での船祝い)。

